

日産セレナのフロントエンド、複雑形状の 8 部品を VPI 化



マレーシアの自動車ボディ・パーツ生産業界をけん引する CTIM は、株式会社ホシノインパル（東京都世田谷区）がチューンアップする日産セレナ MPV モデルのフロントエンドに VPI を採用した。

CTIM のマネージング・ディレクター、レイモンド・シュー氏は、『複雑形状の部品を VPI で成形することに成功し、今後も多くの自動車用エアロパーツ開発と生産を行うことができるようになった。生産スピードの大幅改善や、ほぼ製品ネットサイズでの製作によって成形廃棄物も削減し、以前のハンドレイアップ成形に比べて更なる安定性を実現している』と述べた。（2016 年 4 月 26 日 - AHC 公式 facebook より抜粋）



GRP ジャパンでは、日本国内はもちろんのこと、東アジアをリードする VPI システム販売代理店として、中国・台湾・韓国において多方面からの導入開発テーマを手掛けています。

海外工場向け VPI 導入のご相談も、お任せください。

弊社ウェブサイトにて、本誌カラー版をご覧頂けます。
まもなく、『GRP 新聞』が不定期刊行で復刊します！

株式会社 GRP ジャパン

Tel 078-265-1671 / Fax 078-265-1676

神戸市中央区御幸通4-2-15三宮米本ビル6F

URL : www.grp.ne.jp

E-mail : info@grp.ne.jp